

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 12 日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26370412

研究課題名(和文) 民国期児童雑誌の研究 商務印書館編訳所の活動と児童表象を軸に

研究課題名(英文) a study about children's magazines in the republic of china period --focus on activities of shangwuyinshuguanbianyisuo and the representation of children

研究代表者

佐々木 睦 (Sasaki, Makoto)

首都大学東京・人文科学研究科・教授

研究者番号：20315732

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：三年にわたる研究で、中華民国期の児童雑誌、特に『児童画報』、『児童世界』、『小朋友』、についての調査を行った。この研究により、民国期の児童雑誌には、日本の児童雑誌『コドモ』、『幼年画報』、『少年画報』に掲載された漫画から転載された漫画や絵物語が多数あることが明らかになった。また、本研究により、商務印書館が出版した児童雑誌と中華書局が出版した児童雑誌の差異を明確にすることができた。

研究成果の概要(英文)：This three-year study investigated Children's Magazines in the Republic of China period, especially focused on Ertonhuabao, Ertonshijie, Xiaopengyou. This study has shown that these Children's Magazines have many cartoons and illustrated stories reproduced from cartoons published in Japanese Children's Magazines of the same period Kodomo, Yonengaho, Shonengaho. This study also clarified the differences between Children's Magazines published by Shangwuyinshuguan and those published by Zhonghuashuju.

研究分野：中国文学

キーワード：中国文学 児童 雑誌 漫画 図像学

1. 研究開始当初の背景

(1) 中華民国期には児童教育重視の思潮に
応じて数多くの教学教材、児童向けの読物や
雑誌が出版されていた。児童雑誌にも年齢層
に応じて絵を中心とした幼年・低学年向けの
画報から中高学年向け読物雑誌、女子児童に
ターゲットを絞った雑誌、科学普及に特化した
科学画報等があり、これらの児童雑誌出版
事業の中心地は上海であったが他の土地でも
多数出版されていた。こちらの児童雑誌は
当時の児童文化の中で大きな役割を果たした。
とりわけ商務印書館が発行した『児童画報』、
『児童世界』と中華書局が発行した『小朋友』
が強大な販売網と内容の豊富さにより、
時代を通じた影響力を持っていた。

(2) 私は図像を利用した中国文学、中国文
化史研究を進める過程で、近代の画報や雑誌
に注目するに到った。近年『点石齋画報』、『良
友画報』等の画報や映画雑誌、婦女雑誌の研
究、これらを資料として用いた清末から民国
期の文化史研究、歴史学研究が進んでおり民
国期児童雑誌についても、多角的な視野から
の研究が必要とされていた。たしかに代表的
な雑誌に関しては先人たちによって基礎的
な研究がすでに行われていたが、総合的な研
究は、簡平『上海少年児童報刊簡史』(2010、
上海世紀出版)のようなカタログ的な略史が
あるのみであった。民国期の児童雑誌は、
質・量ともに豊富で、多大な影響力があり、
それに応じた豊富な研究があつてしかるべき
だが、実際には民国期児童雑誌の研究はほ
ぼ等閑視されている状況であった。

2. 研究の目的

(1) 児童雑誌も清末から民国にかけて流行
した画報と同様、時代の思想を直に反映し、
近代中国が経験した外国文明への驚き、新思
想受容や消費文化形成の歴史を物語る資料
である。従来民国期の児童雑誌は近代作家の
児童観に関する研究、外国童話受容研究や教
育史研究の中に頻りに引用されてきたが、
雑誌そのものの研究は上記のごとく極めて少
なく、民国期の児童教科書が再評価されてい
る今、児童雑誌の研究に新たな地平を切り開
く必要があつた。第一の研究目的は、民国期
児童研究の土台を広げ、多角的な視野を導入
することであり、そのプラットフォーム作り
をすることである。

(2) 民国期児童雑誌研究に求められる多角
的視野とは以下のようなものである。従来児
童雑誌について行われてきた研究は、童話や
読み物等が中心であり、それ以外のコンテン
ツ、たとえば漫画、読み物の挿絵、工作等は
ごく一部の研究にとどまるか、俎上にさえ登
らなかった。また海外雑誌の影響が指摘され
ながら、具体的な転載元については、上記読
み物など以外は突き止められておらず、誌面
に多々見える漫画等のコンテンツについても
細かく検討する必要がある。さらに、近代
国家の一つのキーワードである「科学」が児

童雑誌にどのように取り入れられたか、民国
期児童雑誌にうかがえる児童観や児童表象
はいかなるもので、それはその前後の時代の
児童観、児童表象とはどう異なるのか等々を
明らかにすることもまた研究目的である。

3. 研究の方法

(1) 民国期児童雑誌を研究する上で、三つ
の点からアプローチを試みた。まず一つは、
『児童画報』、『児童世界』を発行していた商
務印書館編訳所に注目するやり方である。当
時の商務印書館編訳所には、鄭振鐸、謝冰心
等の編集者、童話・児童文学作家としても有
名な者たちの他、後に SF 小説家として高名
となり、児童雑誌では主として科学記事を担
当した顧均正、やはり後に漫画・動画作家と
して名を残すことになる、児童雑誌の表紙や
イラストを担当した万氏兄弟の長男万籟鳴、
さらに、漫画家の季小波、新中国になってから
連環画画家として多数の作品を残す張令
濤、胡若仏(=胡也仏)らなど、正規非正規
の社員が入り交じり、若い才能をぶつけあい、
児童雑誌を舞台に新しいものを作り出そう
と格闘していた。彼らがどこからインスピ
レーションを受け、それがどのような出版活動
につながったかを調査した。

(2) 二つ目は商務印書館のライバル出版社
である中華書局が発行していた児童雑誌『小
朋友』研究を掘り下げ、商務印書館刊行誌と
の方針の違いを明らかにするものである。

(3) 三つ目は、児童表象に着目し、図像資
料も加えた上で、当時の社会において、どの
ような児童が「よい子」「悪い子」と位置づ
けられたか、このような児童観は、新中国の
ものとのような違いを見せるのか、またこれ
らの児童はどのように表象されたかにつ
いて検討した。

(4) 研究の目的の一つはプラットフォーム
作りでもあり、メンバー同士の研究交流の場
として、中国児童雑誌を立ち上げ、年に二度
開催した。

4. 研究成果

(1) 上記四つの研究方法により、多くの相
互に関連する成果が得られた。まず同時代の
日本の児童雑誌からの影響について具体的に
指摘することができた。商務印書館『児童
画報』、中華書局『小朋友』ともに、コドモ
社『コドモ』誌の漫画からの転載が認められ
た。これは児童雑誌の交流史においても、漫
画の交流史においても大きな出来事であり、
この発見により、日本漫画の中国への輸出が、
大正期にまでさかのぼれることが明らかにな
った。

(2) 中華書局『小朋友』についての研究は、
望外の成果を得た。一つは注音字母使用の状
況と関連記事を丹念に整理することで、『小
朋友』が社長の陸費逵と初代編集長黎錦暉の
推進する国語統一、注音字母普及の方針を受
けて、国語改革派の一種の児童向けプロパガ

ンダ誌として刊行されていたことを指摘することができた。また『小朋友』の故事画という読み物のコーナーには、大日本雄弁会講談社が発行していた『幼年倶楽部』と『少年倶楽部』の漫画から多くの転載が認められることを指摘し、読み物への書き換えとともに、絵の文化的差異に関わる部分について行われた描き換えについて丹念に検証することができた

(3) 児童表象については、『児童画報』に表象された児童を時期ごとに整理し、刊行当初は理想とされる児童像は明確ではなかったこと、民国 23 年(1934)、『児童画報』に連載された「好孩子」が蒋介石の発動した新生活運動の潮流を受けて書かれたもので、新生活運動で理想とされた清潔で礼儀正しく社会にも関心を持つ人物像がそのまま児童にも適用されていることを指摘した。また日本との戦争が激化する時代には、兵隊ごっこをする児童が多く描かれ、児童像が歴史のうねりの中で変遷する状況を明確にした。これについては、戦後の人気キャラクター三毛もまた同様で、児童表象というものが時代の思潮に大きく影響されるという一般的事象として整理することができた。また後に仕女図で有名となる胡若仙(=胡也仙)の描く少女図には、従来になかった美しさが認められ、「近代中国における少年、少女の発見」という新しい研究の足がかりを作ることができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 10 件)

(1) 佐々木睦、『児童画報』に見る少年・少女、人文学報、査読無、第 513 号(第 12 分冊)、2017 年、111-130

(2) 佐々木睦、黎錦暉の空想小説創作方法 挿絵から見えるもの、大朋友、査読無、第 1 号、2017 年、3-22

(3) 加部勇一郎、“同じ顔”の子どもたち - アニメ『葫蘆兄弟』を端緒として、大朋友、査読無、第 1 号、2017 年、23-38

(4) 佐々木睦、香港通俗漫画の世界 あるいは粗製濫造の文化学、連環画研究、査読無、第 6 号、2017 年、71-90

(5) 加部勇一郎、“黒猫警長”研究序説 - キャラクターの誕生とその伝播について、『共産圏アニメ SF 研究会論集、査読無、2017 年、107-126

(6) 佐々木睦、海を渡ったのらくろ 民国期児童雑誌における日本漫画の受容、人文学報、512 号(第 12 分冊)、査読無、2016 年、155-184

(7) 佐々木睦、漢字の国のアリス、『ユリイカ』増刊号「150 年目の『不思議の国のアリス』」、査読無、2015 年、278-289

(8) 加部勇一郎、アニメのような、マンガ

のような 戴鉄郎氏のマンガ『黒猫警長』について、連環画研究、査読無、第 5 号、2016 年、84-97

(9) 佐々木睦、民国期児童雑誌と注音字母、人文学報、査読無、第 509 号、2015 年、57-84

(10) 加部勇一郎、流浪する少年 国民的キャラクター“三毛”を読む、連環画研究、査読無、第 4 号、2015 年、66-84

〔学会発表〕(計 23 件)

(1) 佐々木睦、誰でもないコドモとトリックスター、第 6 回(2016 年度第 2 回)中国児童雑誌研究会「表紙のドラマツルギー」、2017 年 3 月 4 日、首都大学東京南大沢キャンパス 5 号館(東京都・八王子市)

(2) 加部勇一郎、『児童時代』の表紙を読む、第 6 回(2016 年度第 2 回)中国児童雑誌研究会「表紙のドラマツルギー」、2017 年 3 月 4 日、首都大学東京南大沢キャンパス 5 号館(東京都・八王子市)

(3) 佐々木睦、想像力的海港 上海和民国時期児童雑誌、上海社会科学院・「上海蘭心大戲院研究会」共催国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」、2016 年 8 月 26 日、上海社科国際創新基地(中国・上海市)

(4) 加部勇一郎、三毛”的歴史変遷与多様的社会功能、上海社会科学院・「上海蘭心大戲院研究会」共催国際シンポジウム「文化空間与文化融匯」、2016 年 8 月 26 日、上海社科国際創新基地(中国・上海市)

(5) 加部勇一郎、同じ顔の戦士たち アニメ『葫蘆兄弟』における継承と展開、シンポジウム「紅い星に願いを 社会主義文化の伝播と比較」、2016 年 8 月 21 日、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター(北海道・札幌市)

(6) 佐々木睦、「改造」の夢と悪夢 中国早期 SF 漫画「改造博士」考、第 5 回(2016 年度第 1 回)中国児童雑誌研究会「都市の見る夢」、2016 年 8 月 6 日、首都大学東京南大沢キャンパス 5 号館(東京都・八王子市)

(7) 加部勇一郎、“三毛”の歴史の変遷とその社会的役割について、第 5 回(2016 年度第 1 回)中国児童雑誌研究会「都市の見る夢」、2016 年 8 月 6 日、首都大学東京南大沢キャンパス 5 号館(東京都・八王子市)

(8) 佐々木睦、民国期児童雑誌『小朋友』の日本漫画受容、第 4 回(2015 年度第 2 回)中国児童雑誌研究会「書き換え のたくらみ」、2016 年 3 月 4 日、首都大学東京南大沢キャンパス(東京都・八王子市)

(9) 加部勇一郎、戴鉄郎のマンガ『黒猫警長』について、第 4 回(2015 年度第 2 回)中国児童雑誌研究会「書き換え のたくらみ」、2016 年 3 月 4 日、首都大学東京南大沢キャンパス、(東京都・八王子市)

(10) 加部勇一郎、そして何も出なくなった 豊饒と涸渇の物語、乳房文化研究会、2015 年 8 月 29 日、北海道大学(北海道・札幌市)

(11) 佐々木睦、民国期児童雑誌の中国漫画

史における位置づけ、華南理工大学・首都大学東京中日言語文学合同研究会、2015年8月25日、華南理工大学（中国・広州市）

(12) 平井博、漢字の運命 近現代中国と日本の経験から、華南理工大学・首都大学東京中日言語文学合同研究会、2015年8月25日、華南理工大学（中国・広州市）

(13) 佐々木睦、民国期児童雑誌と漫画・連環画、京都国際マンガミュージアム学術シンポジウム「連環画、そのさまざまな顔～他ジャンルとの接点をさぐる～」2015年5月30日、京都国際マンガミュージアム（京都府・京都市）

(14) 加部勇一郎、子ども文化と漫画・連環画「黒猫警長」シリーズを例にして、京都国際マンガミュージアム学術シンポジウム「連環画、そのさまざまな顔～他ジャンルとの接点をさぐる～」2015年5月30日、京都国際マンガミュージアム（京都府・京都市）

(15) 佐々木睦、海を渡ったのらくろ 20～30年代児童・少年雑誌に見る日中漫画交流、第3回（2015年度第1回）中国児童雑誌研究会「交錯するまなざし」2015年8月1日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都・八王子市）

(16) 平井博、ルビッチ『ウイングミア夫人の扇』と深探『『少奶奶的扇子』 中国早期サイレント映画管見、第3回（2015年度第1回）中国児童雑誌研究会「交錯するまなざし」2015年8月1日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都・八王子市）

(17) 加部勇一郎、『児童時代』における異国表象 1966年までを中心に、第3回（2015年度第1回）中国児童雑誌研究会「交錯するまなざし」2015年8月1日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都・八王子市）

(18) 佐々木睦、民国期児童雑誌に見る「よい子」と「悪い子」 国語普及／新生活運動／後ろ向きの少女図像、中国児童雑誌研究会 2014年度第2回研究会「よい子、悪い子、科学の子」2015年3月5日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都・八王子市）

(19) 加部勇一郎、雑誌『児童時代』における張樂平の活動について、中国児童雑誌研究会 2014年度第2回研究会「よい子、悪い子、科学の子」2015年3月5日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都・八王子市）

(20) 加部勇一郎、賀友直『賀友直画自己』について、自伝・回憶録を読む会、2015年3月4日、関西学院大学（大阪府・大阪市）

(21) 加部勇一郎、三毛の大冒険、共産圏アニメ SF 研究会、2014年8月23日、北海道大学（北海道・札幌市）

(22) 佐々木睦、民国期児童雑誌の概要とその研究状況、2014年8月2日、中国児童雑誌研究会 2014年度第1回研究会、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都・八王子市）

(23) 加部勇一郎、新中国児童雑誌の概要とその研究状況、中国児童雑誌研究会、2014年

8月2日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都・八王子市）

〔図書〕（計 件）

〔産業財産権〕

出願状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐々木 睦 (SASAKI, Makoto)
首都大学東京・人文科学研究科・教授
研究者番号：20315732

(2) 研究分担者

平井 博 (HIRAI, Hiroshi)
首都大学東京・人文科学研究科・教授
研究者番号：80199033

加部勇一郎 (KABE, Yuyichiro)
北海道大学・文学研究科・専門研究員
研究者番号：30553044

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

青木美智子 (AOKI, Michiko)
京都橘大学・准教授

上原かおり (UEHARA, Kaori)
首都大学東京・客員研究員